

第5次船橋市地域福祉計画策定のための 相談支援機関アンケート ご協力をお願い

日頃より地域福祉の推進にご協力いただきありがとうございます。

市では、地域住民がお互いに助け合い、支え合い暮らしていく「地域共生社会」の構築を目指して、市民、関係機関・団体および行政が一体となり「第5次船橋市地域福祉計画」を令和9年3月に策定する予定です。

このアンケートでは、計画の策定にあたり、各相談支援機関の皆様に組織間の連携や複合課題・制度の狭間への対応に関する実態や課題、ご意見等を伺い、計画策定に反映していきたいと考えております。

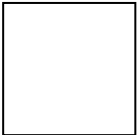
お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、より多くの方からご意見をいただきたいので、回答者はおひとりに限らず、ご協力いただける限り、日頃相談業務に携わっている多くの職員の方にご回答いただければ幸いです(WEB からのご回答にご協力いただけると助かります)。

アンケートの回答は全て統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。

令和 7 年 10 月

【ご回答に際してのお願い】

1. 回答期限は **令和7年10月 日()** です。
2. このアンケートは、紙媒体(本アンケート用紙)または WEB の回答ページよりご回答いただけます。
※可能な限り、WEB からのご回答にご協力いただければ幸いです。
3. WEB からご回答いただく場合は、下記 URL もしくは右記二次元コードによりご回答ください。
http:// 
4. 紙媒体(本アンケート用紙)でご回答いただく場合は、同封の「返信用封筒(切手不要)」でポストにご投函または直接福祉政策課までご提出ください。
調査票が足りない場合は、コピーしていただくか、下記までお問い合わせください。
5. 回答については、**令和7年10月1日現在**の状況でご記入ください。率直なご意見をご記入いただくことにより正確な調査となりますので、ありのままをご回答ください。
6. 紙媒体でご回答いただく場合、選択式の回答は番号を○で囲んでください。
7. 「その他」や自由記入欄はできるだけ具体的にご記入ください。
8. この調査についてのご不明な点やご質問については、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】

船橋市 健康福祉局 福祉サービス部 福祉政策課 政策推進係

〒273-8501 船橋市湊町 2-10-25

TEL:047-436-2383 FAX:047-436-2409

E-mail fukushiseisaku@city.funabashi.lg.jp

※ご回答いただく方個人として意見をご記入ください。構成員の意見を取りまとめて回答いただく必要はありません

<回答者>

所属機関名	
氏名	電話番号
役職（例：所長・相談支援員・事務職員など）	
通常業務で関わる主な福祉分野（○は1つだけ）	
1. 高齢福祉	2. 障害福祉
3. 児童福祉	4. 生活困窮
5. その他（	）

複雑な課題等を持つ個人・世帯への対応について

問1 相談者の抱える課題が複雑であったり、解決が困難であったりする相談を受けることが多いですか。(○は1つだけ)

- ① 多い→問 1-1 ② たまに受ける→問 1-1
- ③ ほとんど受けない→問 2 ④ 受けたことがない→問 2

問 1—1 問 1 で「①多い」「②たまに受ける」とお答えの方におうかがいします。
どのような背景や課題が多いですか。(〇はいくつでも)

- ① 既存の制度では対象とならない、もしくは不十分など(いわゆる「制度の狭間」)
- ② 分野をまたがる複合的な福祉課題を抱えている
- ③ 対象者だけではなく、世帯全体への支援が必要
- ④ 地域のつながりが薄れ、社会や地域から孤立している
- ⑤ 適切な相談機関や支援があるにもかかわらず、対象者が拒否している
- ⑥ その他()

問 1—2 問 1で「①多い」「②たまに受ける」とお答えの方におうかがいします。
誰から相談を受けることが多いですか。(〇はいくつでも)

- ① 当事者 ② 家族・親戚 ③ 友人 ④ 近隣住民
- ⑤ 民生委員・児童委員 ⑥ 町会・自治会 ⑦ 市役所 ⑧ 別の相談支援機関
- ⑨ 事業所 ⑩ その他()

問 1－2－1 問 1－2 でご回答いただいた相談者で、特に多いと感じる 3 つを問 1－2 の番号でお書きください。(多い順に 1 から記載してください)

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

問 1－3 問 1 で「①多い」「②たまに受ける」とお答えの方におうかがいします。

近年の傾向として、相談者の抱える課題が複雑であったり、解決が困難であったりする相談を受ける機会が増えていると感じますか。減っていると感じますか。
(体感で結構です)(○はひとつだけ)

- | | |
|-------------|--------------------|
| ① 増えていると感じる | ② どちらかという増えていると感じる |
| ③ 変わらない | ④ どちらかという減っていると感じる |
| ⑤ 減っていると感じる | |

問 1－4 問 1 で「①多い」「②たまに受ける」とお答えの方におうかがいします。

直近 1 年間で貴機関が受ける相談全体の中で、課題が複雑であったり、解決が困難であったりして、他の機関につなぐまたは連携して解決している相談はどのくらいの割合ですか。(体感で結構です)(○はひとつだけ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ① 8割以上 | ② 7～5割 | ③ 4～2割 | ④ 1割以下 |
|--------|--------|--------|--------|

問 1－5 問 1 で「①多い」「②たまに受ける」とお答えの方におうかがいします。

受けた相談が通常関わる業務範囲以外の内容である場合、どのように対応していますか。(○はいくつでも。「その他」にも自由にお書きください)

※重層的支援体制整備事業(6ページ参照)における「多機関協働事業」につなぐケースは除きます

- | |
|---|
| ① 貴機関から相談内容に合致する市の担当部署や相談支援機関に連絡し、相談者と同行してつないでいる |
| ② 貴機関から相談内容に合致する市の担当部署や相談支援機関に連絡し、相談者と同行はせずにつないでいる |
| ③ 相談内容に合致する市の担当部署や相談支援機関を相談者に伝え、相談者から担当部署等へ直接相談してもらっている |
| ④ 業務範囲以外の相談内容であっても、できる範囲で対応している
(※対応の多い内容を記載してください) |
| ⑤ 業務範囲以外の相談内容には、特に対応はしていない |
| ⑥ どのように対応したらよいかわからない |
| ⑦ その他() |

問 1—6 問 1 で「①多い」「②たまに受ける」とお答えの方におうかがいします。
つなぐまたは連携する機会が多い市の担当部署や相談支援機関はどこですか。
(○はいくつでも)

- ① 地域包括支援センター・在宅介護支援センター
- ② 基幹相談支援センター ふらっと船橋・障害者(児)総合相談窓口
- ③ 障害者虐待防止センター はーぷ
- ④ 子育て支援センター
- ⑤ こども発達相談センター
- ⑥ 家庭児童相談室
- ⑦ 子育て世代包括支援センター「ふなここ」
- ⑧ 保健センター
- ⑨ 保健と福祉の総合相談窓口 さーくる
- ⑩ ふなばし地域若者サポートステーション
- ⑪ 在宅医療支援拠点 ふなぽーと
- ⑫ 市の担当部署()
- ⑬ その他()

問 2 普段の業務の中で、通常関わる業務範囲以外の福祉課題を抱えた個人や世帯に気付いたり、発見したことがありますか。(○は 1 つだけ)

- ① よくある→問 2-1
- ② 何回かある→問 2-1
- ③ ほとんどない→問 3
- ④ ない→問 3

問 2—1 問 2 で「①よくある」「②何回かある」とお答えの方におうかがいします。

それはどのような場面ですか。

(○はいくつでも。「その他」にも自由にお書きください)

- ① 窓口等で相談を受けているとき
- ② 通常関わる業務範囲の対象者を支援しているとき(訪問支援時など)
- ③ 対象者や内容を限定しない相談会などの事業を実施しているとき
- ④ 研修会など相談活動以外の事業を実施しているとき
- ⑤ その他()

問 2 - 2 問 2 で「①よくある」「②何回かある」とお答えの方におうかがいします。

個人や世帯が抱える福祉課題の中で、通常関わる業務範囲以外の内容が含まれている場合、どのように対応していますか。

(○はいくつでも。「その他」にも自由にお書きください)

※重層的支援体制整備事業(6ページ参照)における「多機関協働事業」につなぐケースは除きます

- ① 福祉課題に合致する市の担当部署や相談支援機関に連絡し、同行訪問するなど協働している
- ② 福祉課題に合致する市の担当部署や相談支援機関に連絡し、それぞれで対応している
- ③ 福祉課題を抱えた個人等に市の担当部署や相談支援機関を伝え、担当部署等へ直接相談してもらっている
- ④ 業務範囲以外の福祉課題であっても、できる範囲で対応している
(※対応の多い内容を記載してください)
- ⑤ 業務範囲以外の福祉課題については、特に対応していない
- ⑥ どのように対応したらよいかわからない
- ⑦ その他()

相談機関間等の連携について

問 3 相談者への支援にあたって、通常関わる業務範囲以外の市の担当部署や相談機関・施設と連携する必要があるときに、連絡や連携はスムーズに行われていると感じますか。(○は1つだけ)

※重層的支援体制整備事業における「多機関協働事業」につなぐケースは除きます

- ① 概ねスムーズに行えていると感じる→問 4
- ② スムーズに行えないこともたまにある→問 3-1
- ③ スムーズに行えないことのほうが多い→問 3-1
- ④ 連携する機会がない→問 4

問3-1 問3で「②スムーズに行えないこともたまにある」「③スムーズに行えないことのほうが多い」とお答えの方におうかがいします。

その理由としてあてはまるのは何ですか。(○はいくつでも)

- ① 連携に必要な市の担当部署や相談支援機関・施設などの資源が少ない
- ② 市の担当部署や相談支援機関・施設と日頃からの交流がない
- ③ 市の担当部署や相談支援機関・施設内容や対応可能な業務がわからない
- ④ 市の担当部署や相談支援機関・施設に連絡しても断られる
- ⑤ どのように(どこ)連携すればよいかわからない
- ⑥ その他()

重層的支援体制整備事業について

市では令和5年度より重層的支援体制整備事業を開始しました。まずは各相談機関が相談者の属性、世代、相談内容にかかわらず相談を包括的に受け止め(包括的相談支援事業)、そのうち相談機関同士の連携等だけでは対応・支援が困難なケースについては、「保健と福祉の総合相談窓口 さーくる」(以下「さーくる」という。)につなぎ、さーくるが調整役となり、課題の解きほぐしや関係機関間の役割分担等を図り、各支援機関が円滑な連携のもとで支援ができるようにしています(多機関協働事業)。

※別添「船橋市重層的支援体制整備事業実施計画」参照

問4 市が重層的支援体制整備事業を実施していることを知っていますか。

(○は1つだけ)

- ① 知っている→問4-1 ② 聞いたことはある→問4-1 ③ 知らない→問5

問4-1 問4で「①知っている」「②聞いたことはある」とお答えの方におうかがいします。

対応が困難なケースについて、貴機関からさーくるに相談したことはありますか。(○は1つだけ)

- ① ある→問4-2 ② ない→問4-3 ③ わからない→問5

問4-2 問4-1で「①ある」とお答えの方におうかがいします。

さーくるに相談し、その後多機関協働事業につながったケースはありますか。

- ① ある→問4-2-1 ② ない→問5 ③ わからない→問5

問4-2-1 問4-2で「①ある」とお答えの方におうかがいします。

多機関協働事業につないだことにより、支援が効果的になったと感じますか。(○は1つだけ)

- ① とても感じる→問4-2-2 ② 多少感じる→問4-2-2
③ わからない→問5 ④ あまり感じない→問4-2-3 ⑤ 全く感じない→問4-2-3

問4-2-2 問4-2-1で「①とても感じる」「②多少感じる」とお答えの方におうかがいします。

その理由としてあてはまるのは何ですか。(○はいくつでも)

- ① 困難ケースについて、重層的支援体制整備事業の「重層的支援会議」で支援計画(プラン)を立てることにより、課題整理ができたり、市全体としての支援方針がスムーズにたてられたりするようになった。
② 本人同意が得られないことにより支援につなげることが困難なケースについて、重層的支援体制整備事業の「支援会議」で情報共有・支援方針の検討を図れるようになった。
③ さーくるが調整役として間に入ることにより、日頃からの交流がない市の担当部署や相談支援機関・施設と連携がとりやすくなった。
④ 重層的支援体制整備事業につなげたことにより、これまで想定していなかった新たな連携先とのつながりができ、支援の幅が広がった。
⑤ その他()

問4-2-3 問4-2-1で「④あまり感じない」「⑤全く感じない」とお答えの方におうかがいします。

その理由は何ですか。また、どのような仕組みになれば効果的になると思いますか。(自由記述)

.....

.....

.....

問4-3 問4-1で「②ない」とお答えの方におうかがいします。

その理由として最もあてはまるのは何ですか。(○は1つだけ)

- ① 相談するような事例がない
- ② どのようなケースを相談すればいいのかわからない
- ③ どうやってつないだらいいのかわからない
- ④ 相談したり、多機関協働事業につなげたりしてもあまり効果があると感じない
- ⑤ その他()

問4-3-1 問4-3で「④相談したり、多機関協働事業につなげたりしてもあまり効果があると感じない」とお答えの方におうかがいします。

その理由は何ですか。また、どのような仕組みになれば効果的になると思いますか。(自由記述)

.....

.....

.....

.....

.....

問5 最後に、日々の相談業務等で感じる実態や課題、市の重層的支援体制整備事業に関するご意見やご要望等がございましたら、自由にご記入ください。(自由記述)

.....

.....

.....

.....

.....

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。